

地域防災リーダー養成講座を開催

市は1月23・24日、地域の防災活動で指導的な役割を担う人材を育成する地域防災リーダー養成講座を開催しました。2日間で54人が受講し、座学や専門家による実技指導を通じて防災の知識や技術を学びました。

講座には、自主防災組織で活動している人や、これから自主防災組織を結成したいと考えている町内会の人などが参加。土砂災害をテーマにした講演や消防士によるロープの結び方などの実技指導、大規模災害の発生を想定した避難所運営ゲームや災害図上訓練などを体験しました。

防災リーダーには地域防災の担い手として、地域に防災知識を普及させることや、町内会などで実施する訓練で



▲災害時に役立つ具体的な技術を習得しました

指導的な役割を果たすことが期待されています。講座は今後も開催し、さらに多くの防災リーダーを養成する計画です。

いのちを守る「防災体験」

〈今知っておくこと〉

市民の防災意識と地域防災力の向上を目的に防災体験会を開催します。

とき 15日(日) 10時～13時

ところ 田野浦小学校

内容 講演「三原市を襲う地震・津波・土砂災害」を知っておくこと備えること、訓練、各種展示、炊き出し体験など

※親子で参加できます。

☎危機管理課

☎0848・67・6066

死亡事故多発警報を受け街頭啓発を実施

市は、広島県内に交通死亡事故多発警報が発令されたのを受け、1月27日にJR三原駅周辺で街頭啓発活動を実施しました。

啓発活動は朝の通勤時間帯に合わせて、三原警察署や交通安全協会などと合同で実施しました。駅前を通行する会社員や学生などに啓発グッズ200個を配布し、交通安全を呼び掛けました。



▲JR三原駅前で交通安全を呼び掛けました

市内では昨年末から1月上旬にかけて3件の交通死亡事故が相次いで発生。10日間で3人の尊い命が失われたことを受け、市は1月9日から18日までの10日間、交通死亡事故多発警報を発令しました。

しかし、先月13日には下北方一丁目が高齢者が大型トラックにはねられて死亡しており、市内の交通死亡事故をめぐっては厳しい状況が続いています。市民の皆さんは事故防止のため、①安全確認を徹底する②無理な運転や横断をしない③夜間外出する時は反射材を着用する、などを行い、交通事故に遭わないよう十分に注意してください。

☎生活環境課

☎0848・67・6179

公式フェイスブックを始めました

市は先月6日、市政情報の新たな発信

信手段として公式フェイスブックページを開設しました。市からのお知らせやイベント情報のほか、暮らしに役立つ情報などを画像とともに伝えていきます。災害時には必要に応じて緊急情報も発信します。

フェイスブックは、パソコンやスマートフォンなどでインターネットを通じ、利用者が情報を発信したり交換したりできるSNS(ソーシャル・ネットワーク)キング・サービスの一つです。

掲載記事へのコメントには、原則として対応していませんので、担当課に問い合わせてください。閲覧は、インターネットを通じて登録していない人も可能です。

フェイスブックに登録している人は「いいね」を押して応援してください。URLは、<https://www.facebook.com/city.mihara>



▲市政情報をタイムリーに発信していきます

☎秘書広報課

☎0848・67・6007